

# 保護者と地域との協働により、学び、遊び、交流活動を行う居場所づくり

## 長崎県佐世保市

活動名

鹿町小放課後子ども教室

関係する学校

佐世保市立鹿町小学校

活動区分	※H25年度の実績(補助の有無についてはH26年度の状況)			
	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	補助の有無
土曜日の教育活動				
学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	4人	18人	15年度	無
放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	4人	15人	42日	有
コミュニティスクール	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	指定日	委員数	18年度	有
			児童生徒数	学級数

### 活動の概要

鹿町小放課後子ども教室は、それまで校区内に社会体育面での活動しかなく、文化的な活動がなかったため、文化的体験型教室を目指して平成18年度から活動を開始した。そのため、今日まで地域の豊かな学習資源（ひと・こと・もの）を有効に活用し、子供たちの豊かな育みに資する活動を継続的に実施してきた。特に学校教育との連携を密にしており、子供たちに対する学校側の願いや想いをくみ取りながら、学校教育を補完する役割を果たしている。また、活動に際しては地域住民を巻き込み、生涯学習振興ひいては地域基盤の形成にも貢献している。

このほか同一敷地内で運営されている放課後児童クラブとの連携にも積極的に取り組み、包括的な放課後事業として定着しており、子供たちはもちろん、保護者や教職員、地域住民のニーズ・満足度も高い。そういった取組が、現在も継続している要因となっている。

## 特徴

### 【特徴的な活動内容】

活動を単独講座と継続講座に区分し、特に継続講座では一年を通して継続的な活動を展開し、単なる体験やきっかけづくりではなく、学びを深め、習熟を高める取組を実施している。また、継続講座の事業計画を作成するにあたっては、学校との緊密な連携のもと、学校教育を補完できるような明確なビジョンや目標を設定し、その目標を達成するための様々な工夫が凝らされている。具体的には、「表現力やコミュニケーション能力の向上」を目的として、地域の伝統・文化活動である和太鼓教室を実施し、学校行事等で発表する機会を設けたり、学校の英語活動の導入に併せて英語に親しむ活動を展開し、学校支援と学力の向上にも寄与するよう努めている。特に和太鼓教室では、大切な地域の財産でありながら後継者不足により活動が衰退傾向にあった和太鼓団体と協働することにより、地域活動への参画意識を醸成し、地域活動の支援にもつながった。

### 【実施に当たっての工夫】

- 活動にあたっては学校との連携を重視し、学校側の意見や考えをできる範囲で活動に反映し、学校支援に結び付く取組を行っている。
- 子供たちが子供教室でただ学ぶだけでなく、学んだ成果を発揮する機会を設け、実施主体としての評価はもちろん、子供自身が自己評価を行うことができるよう努めている。
- 学校のみならず、子供や保護者、地域内のニーズや課題を取り込み、子供たちの育みだけではなく、地域に対する支援や貢献につながるよう取り組んでいる。例えば、地域のシンボルである小学校の藤の木が弱っていることがわかると、放課後子供教室で作った作品を町の文化祭のバザーに出品し、その治療費を捻出した。この活動は子供たちのキャリア教育のみならず、学校・地域の活性化にもつながるものとなった。
- 子供たちはもちろん、地域住民や保護者も参加しやすいように年度当初に年間計画を策定の上、周知するようにしている。
- 放課後児童クラブとの積極的な連携に努め、子供教室が放課後の児童の居場所、学びの場としての機能が充実するよう努めている。



「新茶をおいしく飲もう」教室

## 事業を実施して

- 子供たちは、教室を通して新たな学びを得るだけでなく、学力等も含めて習熟を高めることができた。
- 活動に地域のニーズを取り入れることで、地域貢献、地域活動支援にもつながり、地域づくりの一翼をになうことができた。
- 活動を通して学校・保護者・地域住民の関係性が深まり、教室のみならず、あいさつ運動やその他学校支援活動、ひいては地域活動が活性化している。

## その他

- 少子化、過疎化の傾向が顕著な地域であるため、活動の規模は決して大きくないが、小さいからこそみんなで取り組み、地域全体を盛り上げていくための有効な手段となるよう意識的な働きかけを今後も行っていきたい。



「英語で遊ぼう」教室(クリスマス発表会)